学校だより第１号

稲浜通信

千葉市立稲浜中学校
千葉市美浜区稲毛海岸２－３－３
TEL　０４３－２４７－８５００
平成３１年４月１７日発行

歴史的な年の始まりに

校長　川﨑　康範

平成３１年度第３８回入学式

４月８日（月）に満開の桜が咲く中、８３名の新入生を迎え第３８回の入学式が挙行されました。足元の悪い中、たくさんの保護者、地域の皆様にご臨席いただきありがとうございました。全校生徒２５４名、教職員２５名で３１年度のスタートとなります。
天皇の退位、新天皇の即位により元号が平成から令和になる歴史的な瞬間を迎える年に入学してきた新入生のみなさんは、この事実を忘れることはないと思います。令和の始まりとともに中学生として月日を重ね、成長していくことを期待しております。

私たち職員は、新年度を迎えるにあたって全職員が「チーム稲浜中」として連携を保ちながら校訓である「自主・誠実・錬磨」のもと、学校教育目標である「豊かな心をもち、自ら正しく判断し、行動できる生徒の育成」を目指し、生徒の成長に精一杯に努力し、一層充実した教育活動を実践していくように話し合いをし、準備してきました。保護者、地域の皆様には、これまで通り、生徒たちが、それぞれの目標を達成することができますようにご支援、ご協力をお願いいたします。

対面式・部活動説明会

４月９日（火）に入学間もない新入生のために生徒会本部役員、専門委員会、部活動部長会を中心とした２・３年生の先輩たちが対面式・部活動説明会を開催してくれました。

この行事の目的は、次の２つです。

１.新入生は、生徒会の意義を理解し、これからの学校生活に意欲を持つようにする。
２.在校生は、新入生を温かく迎え、あらためて生徒会の意義を確認する場とする。

「対面式を終えて」　生徒会長　３年Ａ組　H.Nさん

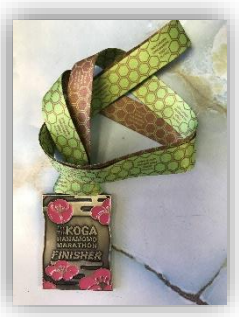
１年生の皆さん、対面式は楽しめたでしょうか。そして入りたい委員会や入りたい部活が見つかったでしょうか。皆さんが「これからの稲浜中学校生活が楽しみ。」と思ってくれていたらとても嬉しいです。中学校は、小学校の頃と違うことが多く大変だと思います。これからの中学校生活では、わからないことが多くあると思います。そうしたら遠慮なく、２・３年生に聞いてください。これから宜しくお願いします。

２・３年生の皆さん、お疲れ様でした。２・３年生の劇はとても完成度が高く、説明はとても分かりやすかったです。これから全校生徒、そして先生方とも一緒に１年間頑張っていきましょう。

42.195kmの向こうにあるもの　　川﨑 康範

卒業式を目前にした３月１０日（日）に古河はなももマラソンに出場しました。卒業式２日前であり、フルマラソン挑戦は少し無謀ではないかという考えが頭をよぎりましたが、私には卒業式を迎えるに当たりフルマラソンを完走することが稲浜中学校の校長として最後に３年生にしてあげられることと決意してのことでした。その訳は、10月に走ったアクアラインマラソンで35kmの関門を設定タイム内で通過できずに失格となってしまったことにあります。校訓の一つ「錬磨」は、

「困難に負けない、たくましい生徒」という意味であり、「このままでは、何かが欠けた思いを持ったまま、卒業生に卒業証書を渡すことになってしまう。」単純な思考回路を持つ私は、そのことだけで無謀にも思えた卒業式２日前のフルマラソンに挑戦しました。当然、「また、失格か？」という不安も頭に浮かびましたが、挑戦しないで回避することの方が後悔すると出場を決断しました。しかし、大会が近づいてくると、当日の天気予報は雨。「雨が降ったら、出場を断念しようかな。風邪ひいたら卒業式に影響するから。」などと申し込んでおきながら、フルマラソンを回避したがる弱気な自分もいました。当日は予報と違って快晴。実際、スタートするときの緊張感、実はいつまでもこの緊張感がたまらない。途中は正直、苦しかったのですが２日後の卒業式を思い浮かべながら走り続けてゴールし、完走メダルを首にかけてもらった瞬間の達成感は特別なものでした。



卒業式前日と当日は、朝早く入浴して血行を良くして、バンテリンをぬって、先生方や生徒達、保護者の方にも筋肉痛を気づかれないように最善を尽くしました。そのため卒業式には、失礼のない態度で臨むことが出来ました。

でもこれも全て、生徒達がいたから考えつき、実現したことです。感謝！